

令和7年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立真備陵南高等学校
校長氏名	細 川 欣 洋

○本校のスクールミッション（使命、存在意義）

多様な学習ニーズに応える市立定時制高等学校として、学び直しを含めた基礎学力の定着や地域との連携により、自己実現を支援し、自立した社会人となるために必要な力を育むきめ細やかな教育活動を通して、社会に貢献できる人材の育成を目指す。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

- 1 社会に開かれた教育課程の実現に努め、主体的・体験的・探究的な学びの場における活躍を創出することにより、生徒の自己有用感を高める。
- 2 生徒が抱える個々の課題を理解したうえで、それぞれに適切な目標設定とその達成を企図した学習指導、生徒指導、進路指導を進め、基礎学力と社会人基礎力を伸長させる。
- 3 生徒の個性や多様な価値観を認めたとうえで、自他の命と権利を尊重する人権教育、道徳教育、防災教育を進め、共生社会の担い手となる意思と態度を養い、地域に送り出す。

○ 当該年度の学校経営目標・計画

- 1 生徒の自己実現に向けた資質・能力の育成（人づくり）
 - ・授業での継続的、段階的な取組により基礎学力・基礎的技能の向上を図る。
 - ・生徒が学校行事や部活動・委員会活動等に積極的に参加し、社会人基礎力を身に付けることができるよう支援する。
 - ・キャリア教育の充実を通して、主体的に考え行動できる能力の育成を図る。
 - ・安全・防災・減災に努める力の育成を図る。
 - ・教育活動に目的意識と意欲を持って取り組む生徒の育成に努める。
- 2 安心・安全で快適な学習環境（環境づくり）
 - ・生徒の基本的生活習慣が定着し、規範意識を身に付け、集団の中で落ち着いた学校生活を送れるよう支援する。
 - ・ユニバーサルデザインに基づいた教室整備など、生徒が快適に学べる空間づくりを推進する。
 - ・生徒が教育活動の中で自己有用感を実感できるような仕掛けづくり及び個に応じた支援を行う。
- 3 社会に開かれた学校（仕組みづくり）
 - ・進路意識の向上のため、就労体験やアルバイトなど校外での活動を積極的に働きかけることをはじめ、卒業までを見通した進路指導を確立する。
 - ・関係機関との連携をはじめとした組織的な教育相談の体制を構築するとともに、個別支援計画の有機的・継続的な活用を図る。
 - ・地域との関わりをはじめ、学校外での学びの充実を図るために外部との連携を進める。
- 4 教職員の連携・働き方（チームづくり）
 - ・業務を1人で抱え込まず、複数人で取り組む体制づくりを進める。
 - ・スクラップアンドビルドの視点を持った業務改善、効率化を進める。
 - ・確実な情報共有を進め、教職員間の連携意識を高める。